景気動向調査報告書

令和２年１０月末調査

　この調査は、岡谷市の基幹産業である製造６業種（精密、機械、電気、計量、表面処理、鋳造）の企業の皆様のご協力により、今期（令和２年１０月末）を基準とした業況等についてまとめた報告書です。

岡谷市産業振興部工業振興課・岡谷商工会議所

- 調査実施期間

前年同期	前　　期	今　期	来　　期
令和元年10月	令和2年4月	令和2年10月	令和3年4月

- 調査業種及び調査企業

（件数）

調査業種	精密	機械	電気	計量	表面処理	鋳造	合計
調査企業数	39	28	11	7	12	3	100
回答企業数	39	28	11	7	12	3	100

- 従業員数

人数	1～9人	10～19人	20～29人	30～39人	40～49人	50～99人	100人～	合計
企業数	30社 （30．0%）	12社 （12．0%）	9社 （9．0%）	10社 （10．0%）	13社 （13．0%）	18社 （18．0%）	8社 （8．0%）	100社 （100%）

調査結果のポイント

○新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、業況DIは5期連続でマイナス水準ではあるが、前期に比べて改善に転じました。

○新型コロナウイルス感染症による影響については、「受注の減少」が最も多く、次いで「商談等、営業活動の制約」、「資金繰り」、「予防・対策経費の増加」、「従業員の雇用の維持」となっています。

○なお、コロナ禍における2021年新規学卒者の採用活動状況については、約2割が「採用活動継続中」と答えており、サプライチェーンの見直しについては、外注の内製化・他社からの代替生産ともに「実施する予定なし・要請されていない」が半数以上を占める結果となりました。

○今後の販路開拓の実施方法としては、「ホームページのリニューアル」が最も多く、次いで「企業訪問による営業活動」、「オンラインによる営業活動」となっています。

《令和2年10月末の岡谷市の景気動向》

業況は、前期（6ヶ月前）と比べて「悪化」とした企業の割合が減少したものの、業況DIは5期連続のマイナス水準となりました。一方、前期からマイナス幅が20ポイント改善したため、全体では平成29年4月以来の回復となりました。

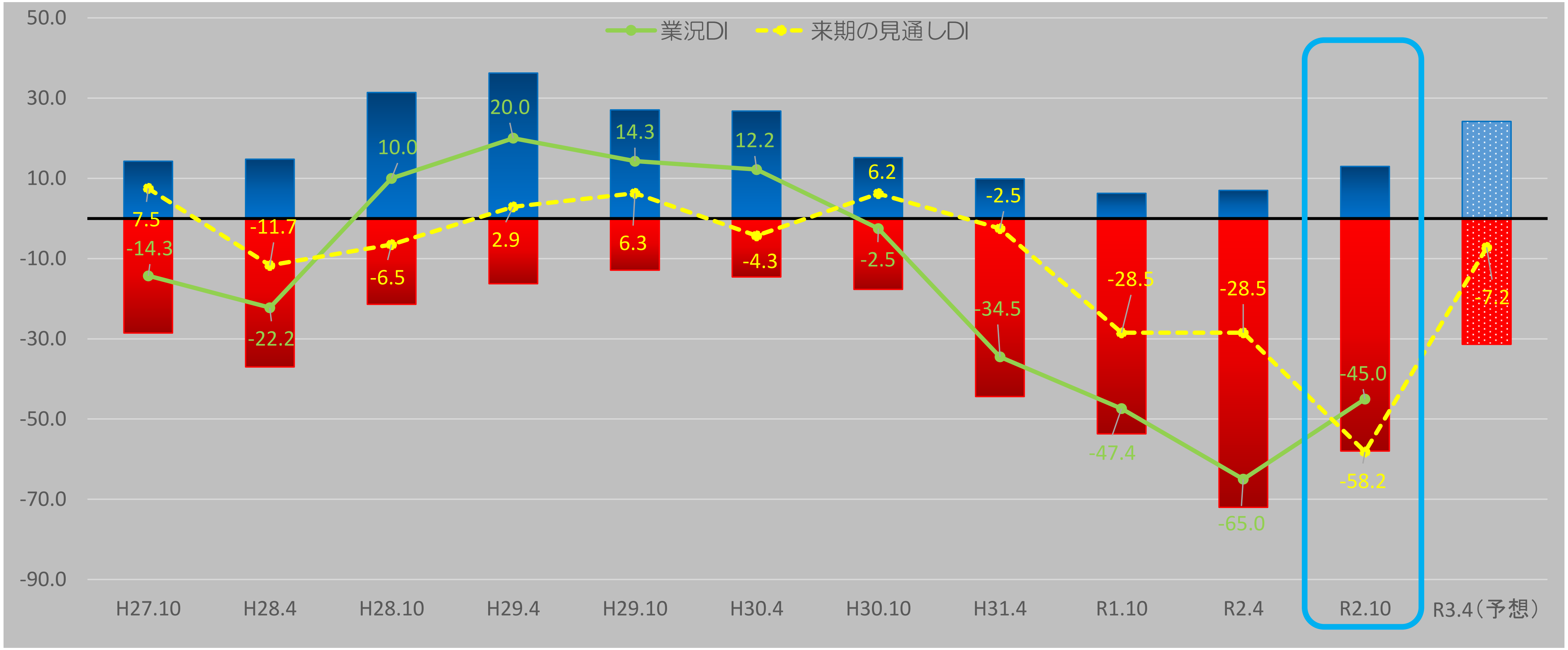
しかし、業種別のDIにおいては、全ての業種で依然大幅なマイナス水準となっているため、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が製造業全体に及んでいるものと考えられます。

《来期の見通し》

来期（6ヵ月後）の見通しは、業況、生産額、受注額、収益全てにおいてマイナス水準ではあるものの、さらなる改善の見込みが示されており、感染症収束の先行きが不透明な中でありますが、来季に向け経済活動の回復に期待感が窺えます。

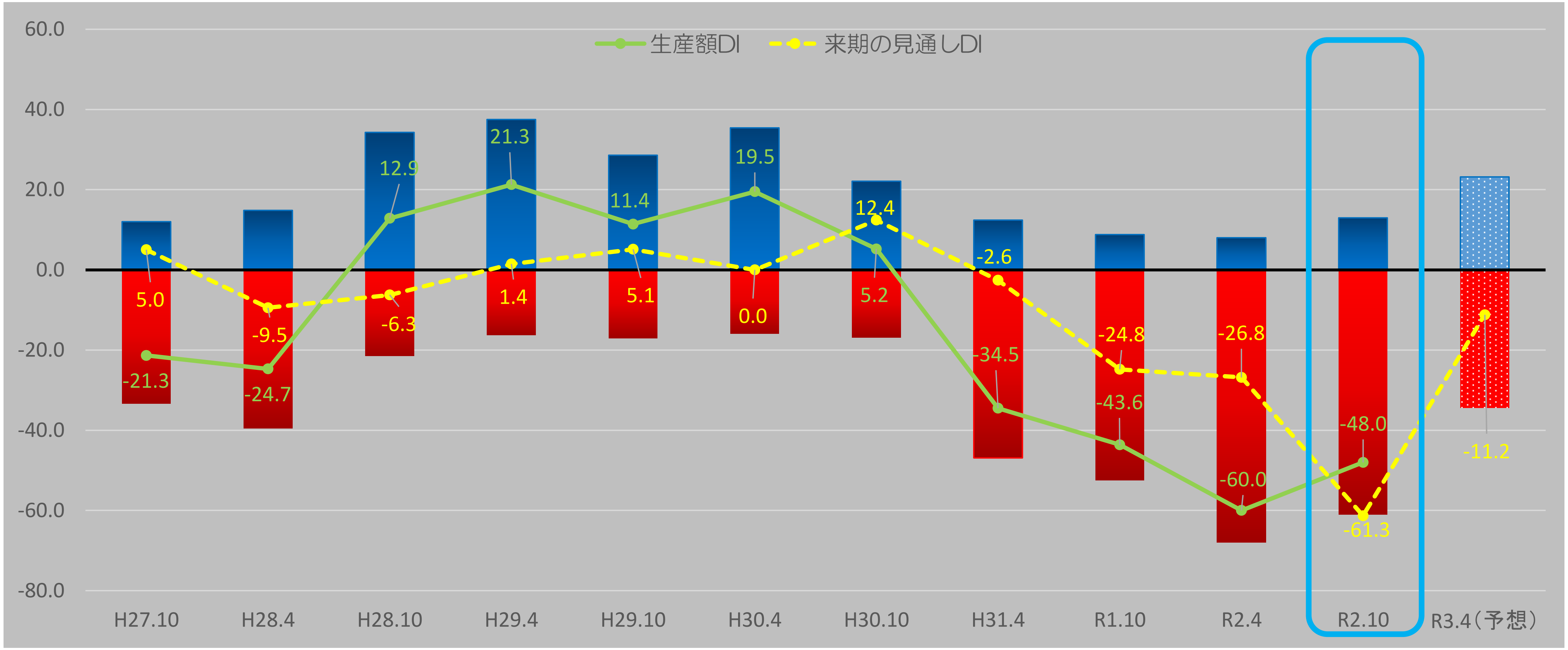
※棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇、余裕）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下、窮屈）の企業の割合です。 折れ線グラフ（DI）は好転（増加、上昇、余裕）の企業の割合から悪化（減少、低下、窮屈）の企業の割合を引いた差です。折れ線グラフ（来期の見通し）は調査時の来期（6ヵ月後）のDI値です。

①業況DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



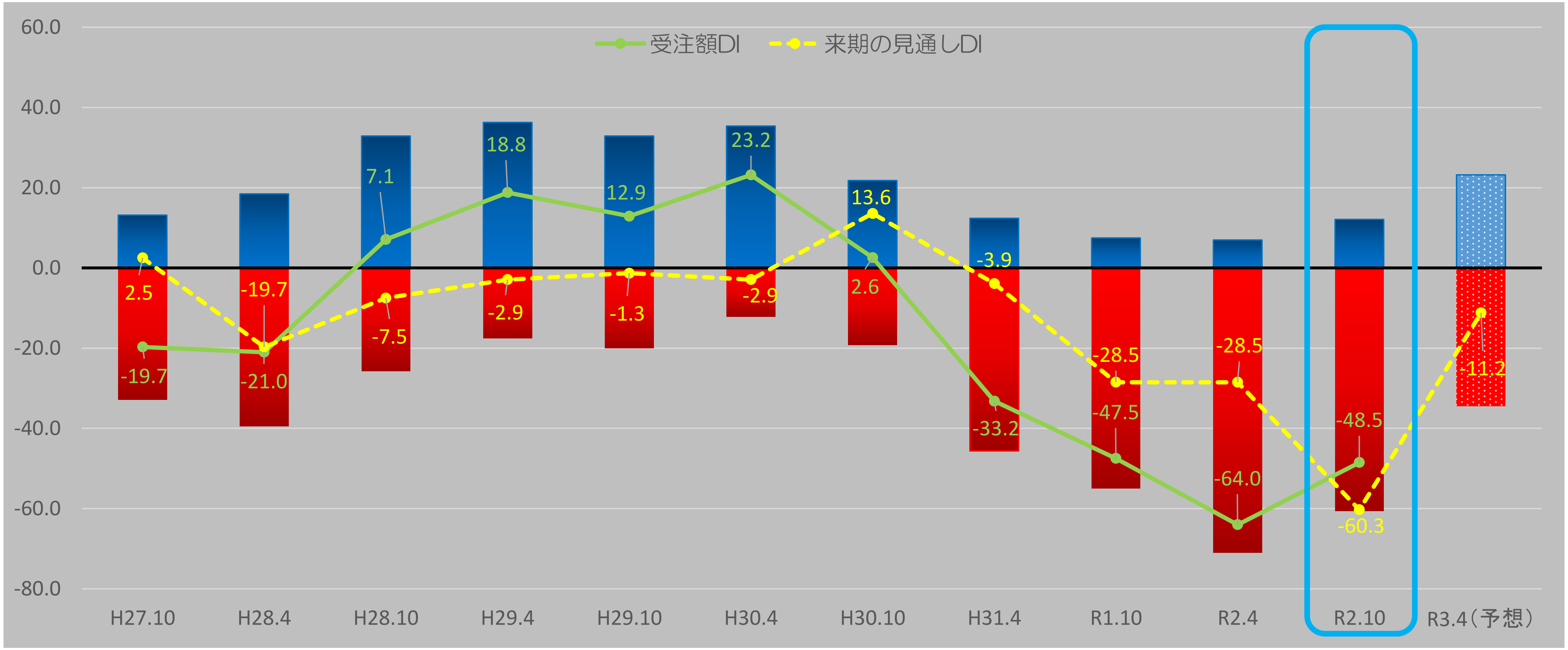
前期と比べたDIは▲45．0ポイントとなり、前期の▲65．0ポイントより20．0ポイント好転しました。
また、来期の見通しDIは▲7．2ポイントとなり、前期の▲58．2ポイントより51．0ポイント好転しました。

②生産額DI【前期（6ヶ月前）に比べて】



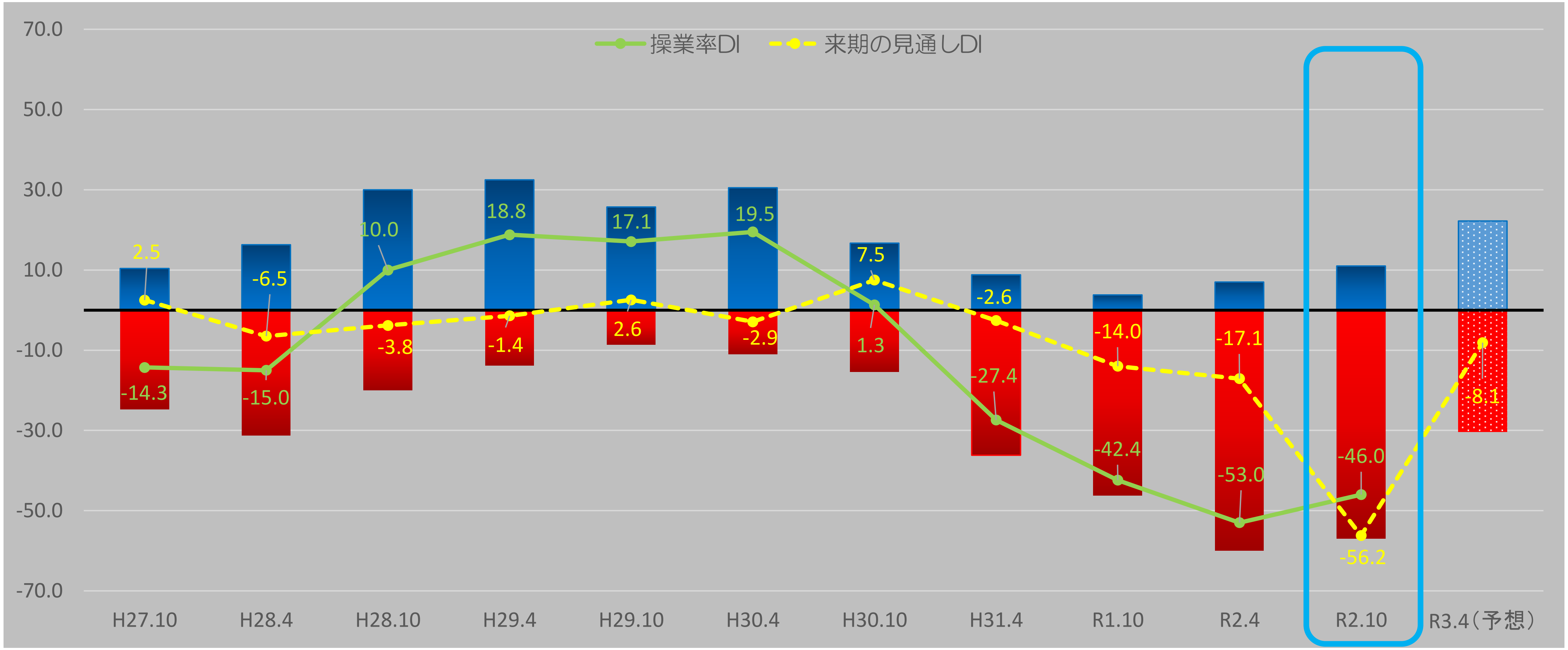
前期と比べたDIは▲48．0ポイントとなり、前期の▲60．0ポイントより12．0ポイント増加しました。
また、来期の見通しDIは▲11．2ポイントとなり、前期の▲61．3ポイントより50．1ポイント増加しました。

③受注額DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



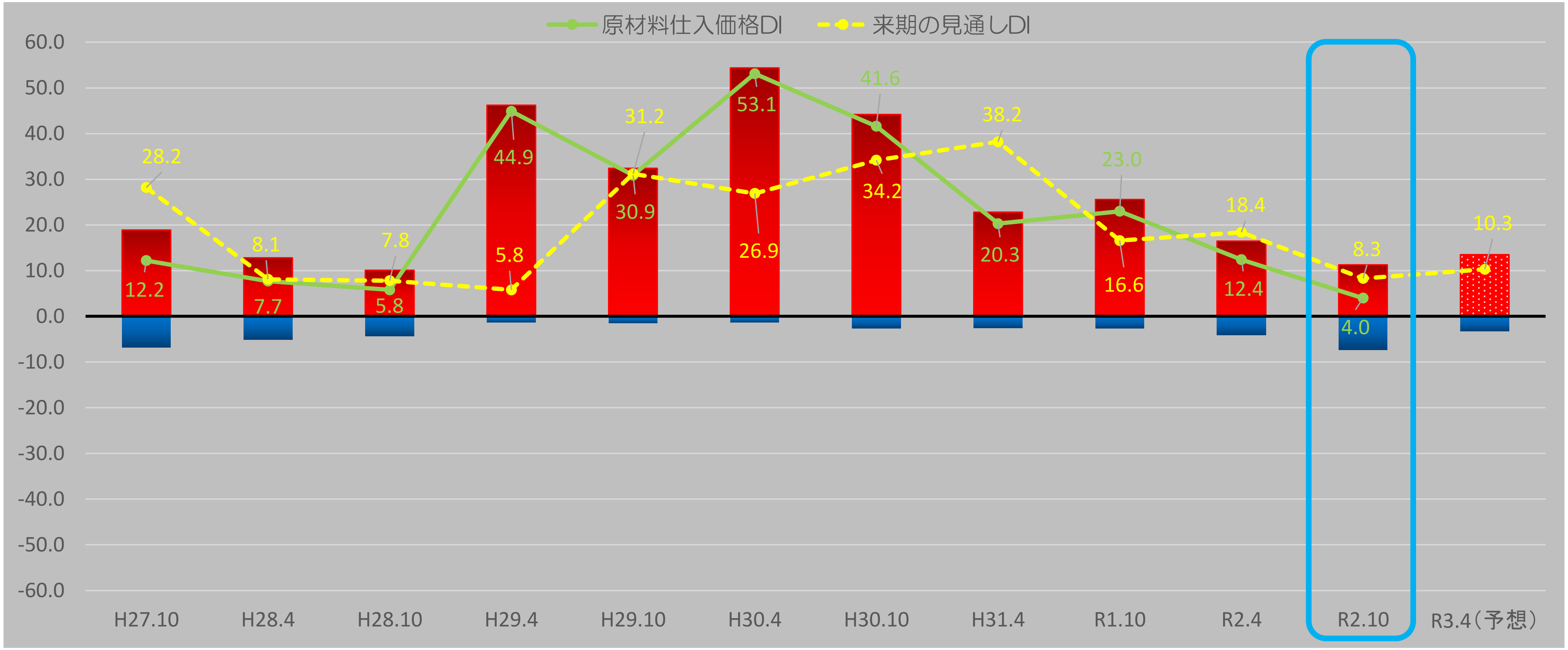
前期と比べたDIは▲48．5ポイントとなり、前期の▲64．0ポイントより15．5ポイント増加しました。
また、来期の見通しDIは▲11．2ポイントとなり、前期の▲60．3ポイントより49．1ポイント増加しました。

④操業率DI【前期（6ヶ月前）に比べて】



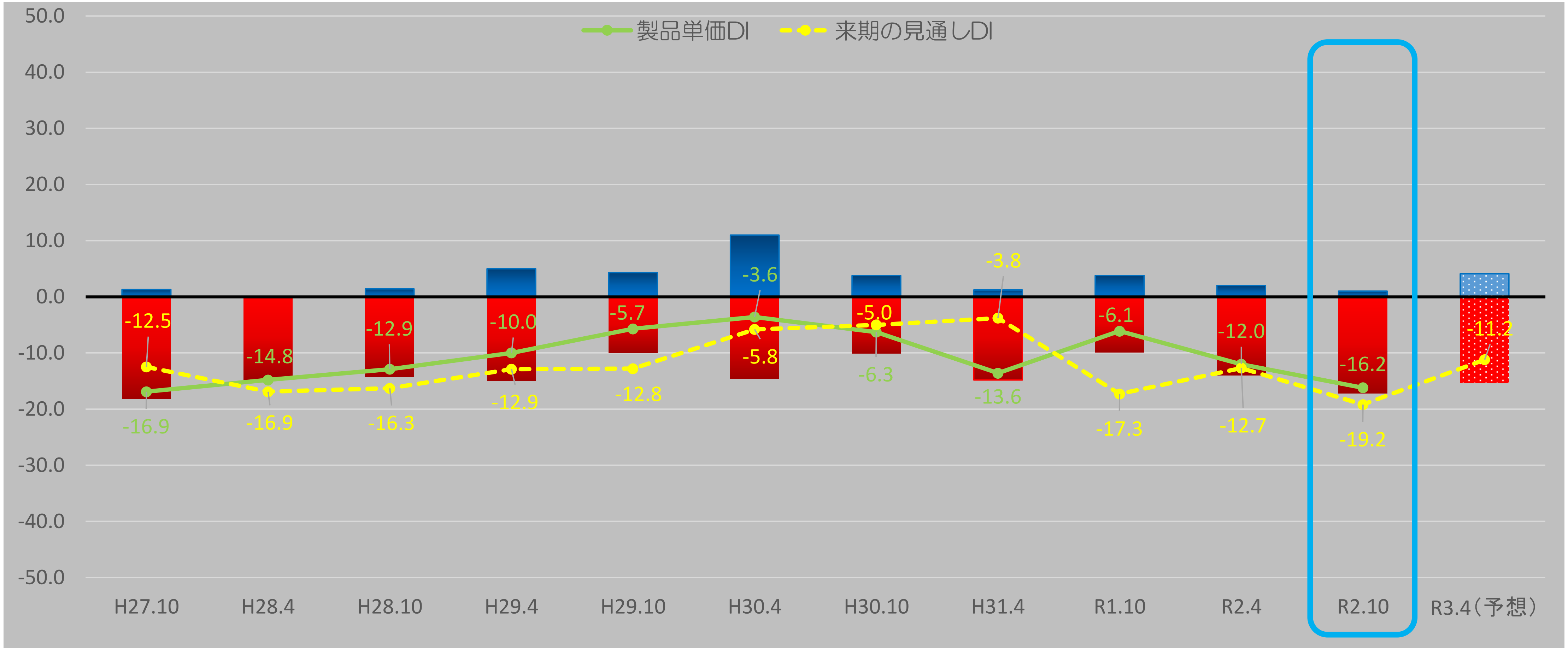
前期と比べたDIは、▲46．0ポイントとなり、前期の▲53．0ポイントより7．0ポイント上昇しました。
また、来期の見通しDIは、▲8．1ポイントとなり、前期の▲56．2ポイントより48．1ポイント上昇しました。

⑤原材料仕入価格DI【前期（6ヶ月前）に比べて】



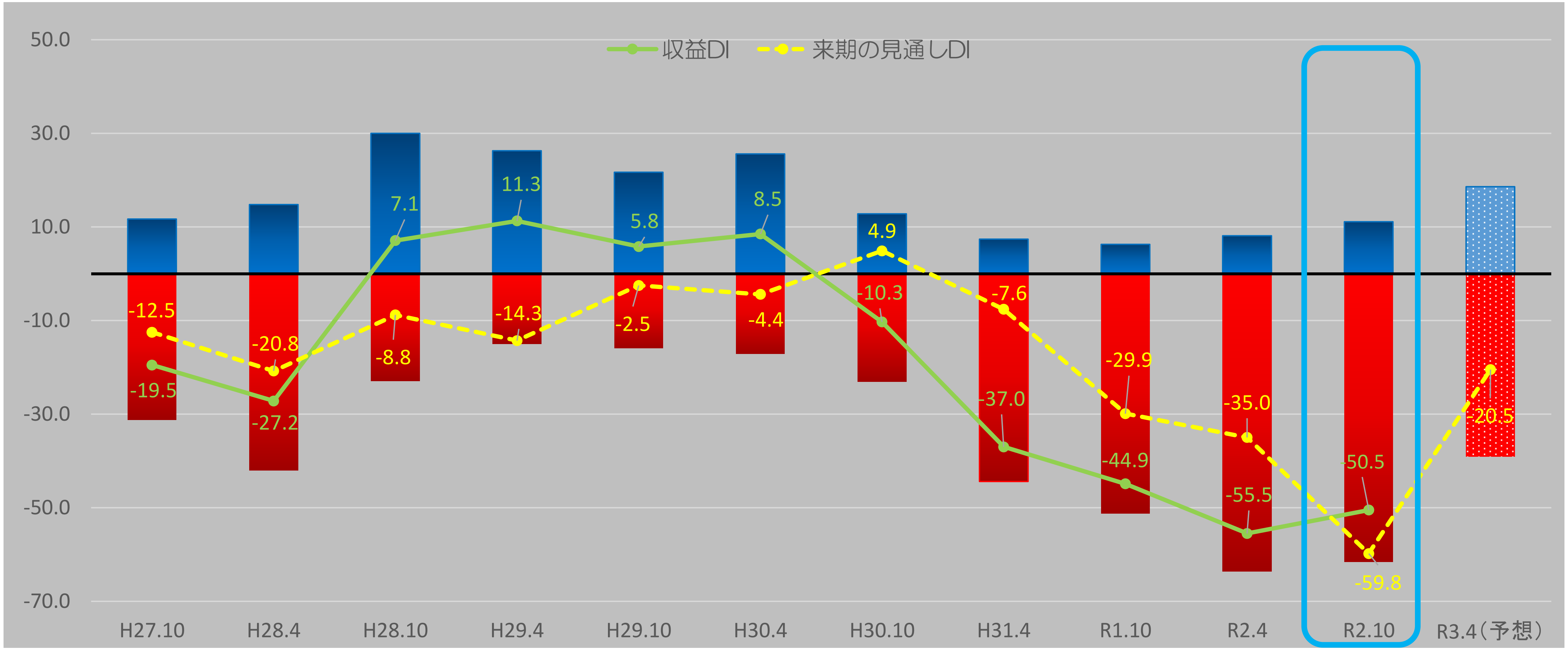
前期と比べたDIは、４．０ポイントとなり、前期の１２．４ポイントより８．４ポイント減少しました。
また、来期の見通しDIは、１０．３ポイントとなり、前期の８．３ポイントより２．０ポイント増加しました。

⑥製品単価DI【前期（6ヶ月前）に比べて】



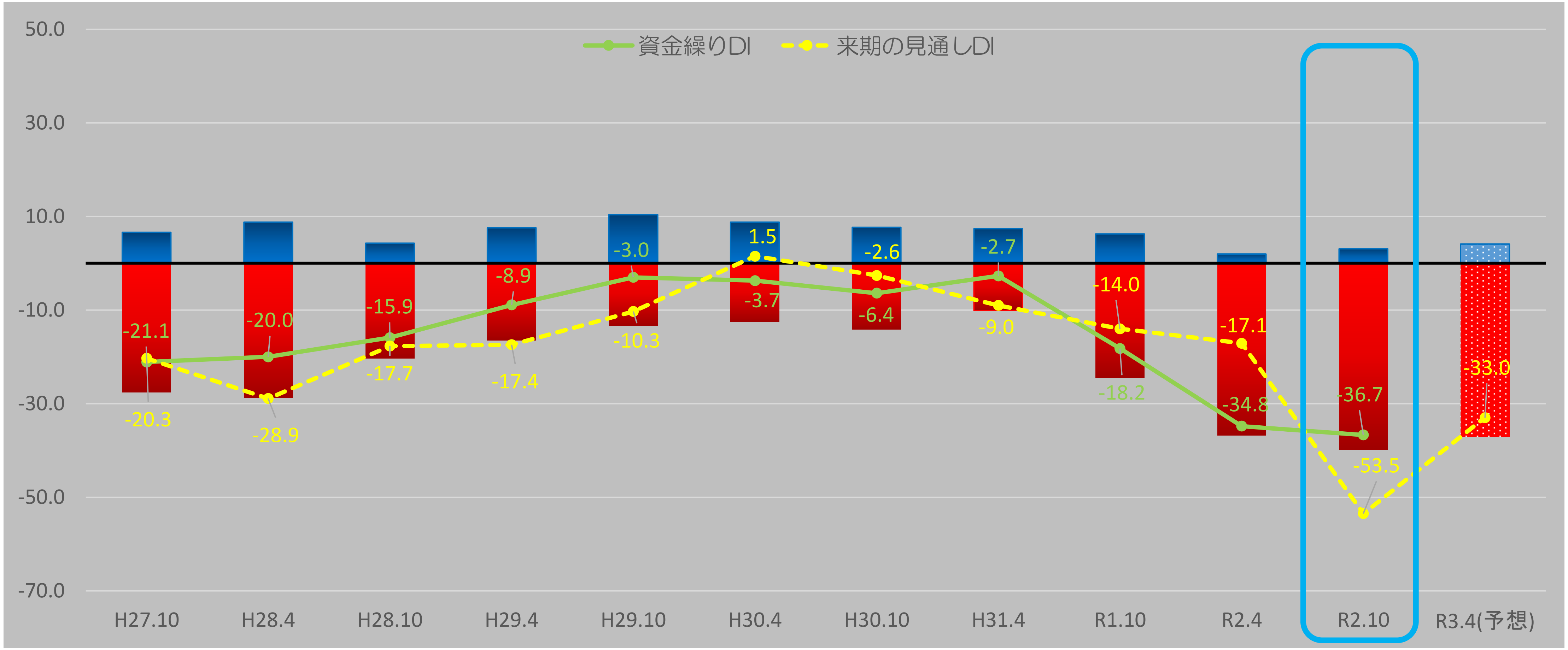
前期と比べたDIは、▲16．2ポイントとなり、前期の▲12．0ポイントより4．2ポイント低下しました。
また、来期の見通しDIは、▲11．2ポイントとなり、前期の▲19．2ポイントより8．0ポイント上昇しました。

⑦収益DI【前期（6ヶ月前）に比べて】



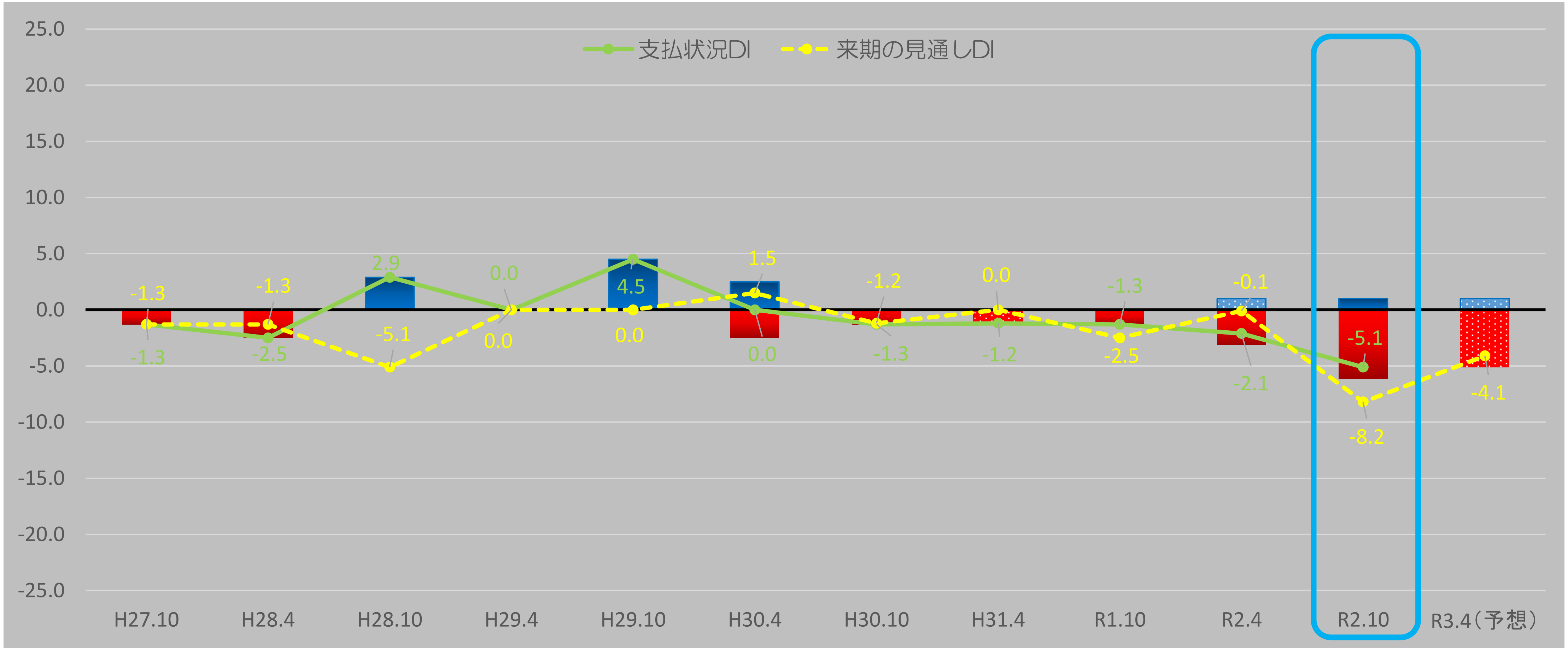
前期と比べたDIは▲50．5ポイントとなり、前期の▲ 55．5ポイントより5．0ポイント増加しました。
また、来期の見通しDIは▲20．5ポイントとなり、前期の▲59．8ポイントより39．3ポイント増加しました。

⑧資金繰りDI【前期(6ヶ月前)に比べて】



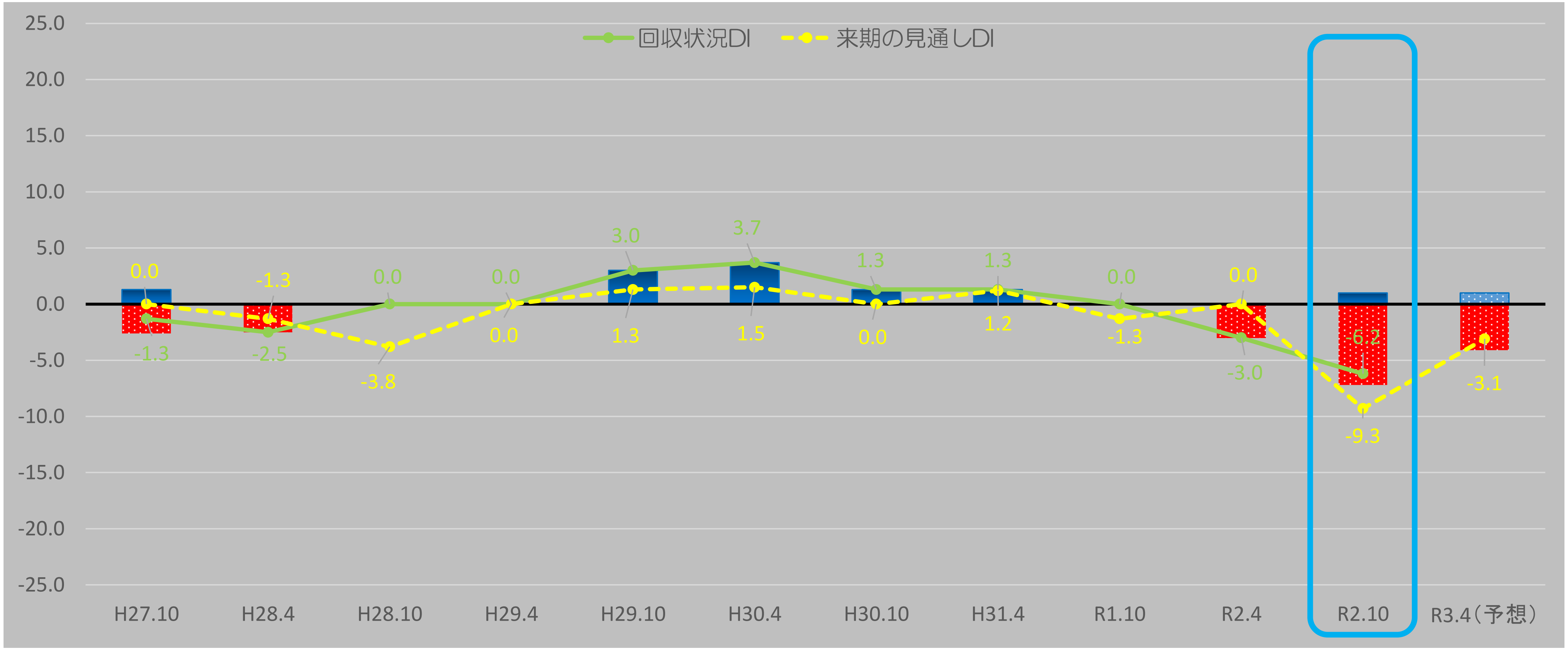
前期と比べたDIは、▲36．7ポイントとなり、前期の▲ 34．8ポイントより1．9ポイント低下しました。
また、来期の見通しDIは、▲33．0ポイントとなり、前期の▲ 53．5ポイントより20．5ポイント上昇しました。

⑨支払状況DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



前期と比べたDIは、▲5．1ポイントとなり、前期の▲2．1ポイントより3．0ポイント低下しました。
また、来期の見通しDIは、▲4．1ポイントとなり、前期の▲8．2ポイントより4．1ポイント好転しました。

⑩回収状況DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



前期と比べたDIは、▲６．２ポイントで前期の３．０ポイントより３．２ポイント低下となりました。
また、来期の見通しDIは、▲３．１ポイントとなり、前期の９．３ポイントより６．２ポイント好転しました。

⑪今期の業種別業況DI

	精密	機械	電気	計量	表面処理	鋳造
前期に比して	▲56．4	▲28．5	▲36．3	▲71．4	▲33．3	▲66．7
前年同期に比して	▲69．1	▲67．8	▲45．4	▲100	▲75．1	▲100

⑫経営上の問題点（複数回答）

項目	今期（R2．10）			前期（R2．4）			順位変動	前期比（ポイント）
	回答数	回答割合	順位	回答数	回答割合	順位		
生産・売上・受注の伸び悩み	78社／100社	78.0%	①	78社／100社	78.0%	①	⇔	0．0
設備の狭小・老朽化	38社／100社	38.0%	②	30社／100社	30.0%	②	⇔	8．0
製品・加工賃の料金安	26社／100社	26.0%	③	27社／100社	27.0%	③	⇔	▲1．0
人手不足・求人難	18社／100社	18.0%	④	17社／100社	17.0%	⑤	↑	1．0
競争の激化	15社／100社	15.0%	⑤	17社／100社	17.0%	⑤	⇔	▲2．0
後継者の不在	13社／100社	13.0%	⑥	12社／100社	12.0%	⑦	↑	1．0
原材料等の価格の上昇	13社／100社	13.0%	⑥	10社／100社	10.0%	⑩	↑	3．0

今期も、「生産・売上・受注の伸び悩み」が78．0%で最も多い状況となっています。前々期の回答に続き3期連続で最も多い状況となってます。

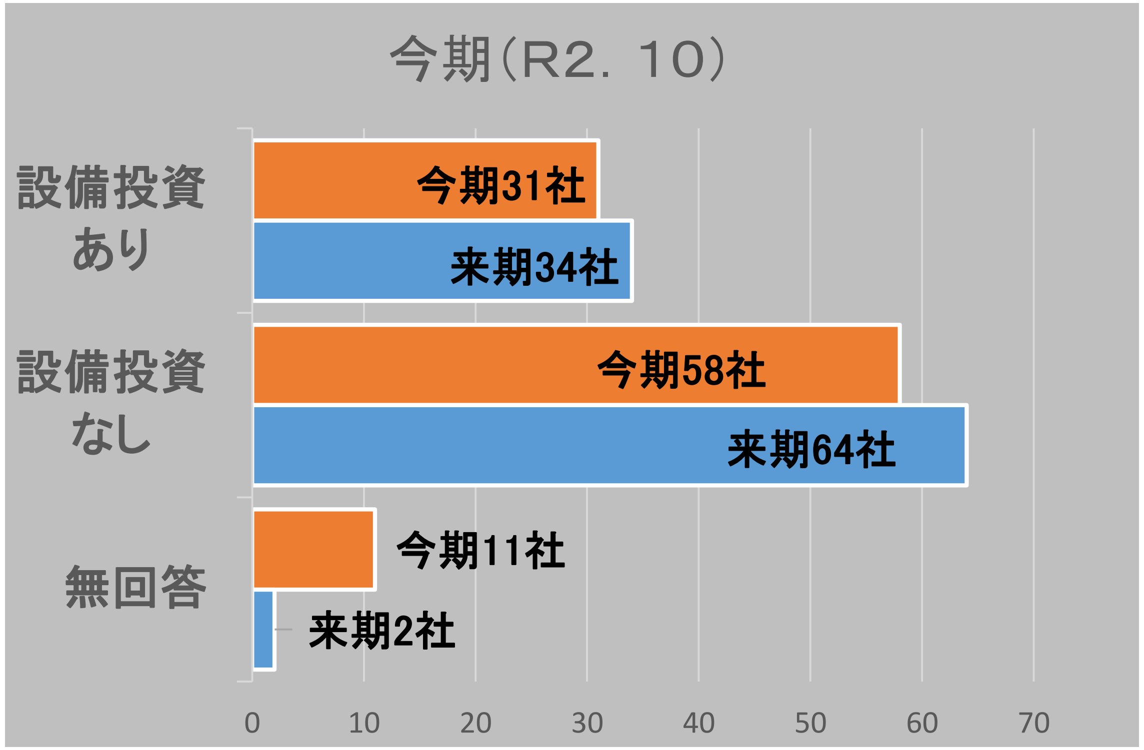
※〇数字は、回答数による順位

⑬設備の狭小・老朽化について

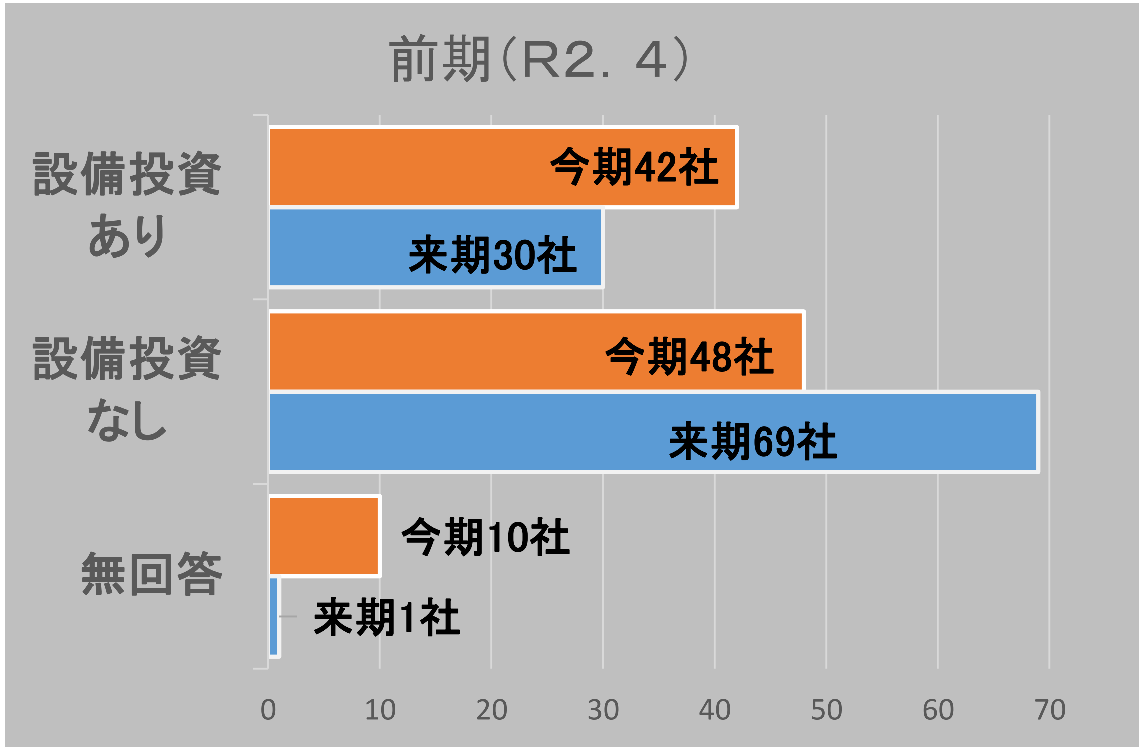
調査企業数：100社

・設備投資の状況について

（社数）



（社数）



　経営上の問題点において、「設備の狭小・老朽化について」に対する各企業の取り組みで、設備投資を行っている（計画している）と回答した企業が、今期31社　来期34社となりました。
今期の設備投資は、前年度より減少となっています。

⑭新型コロナウイルス感染症により、影響を受けていること（複数回答）

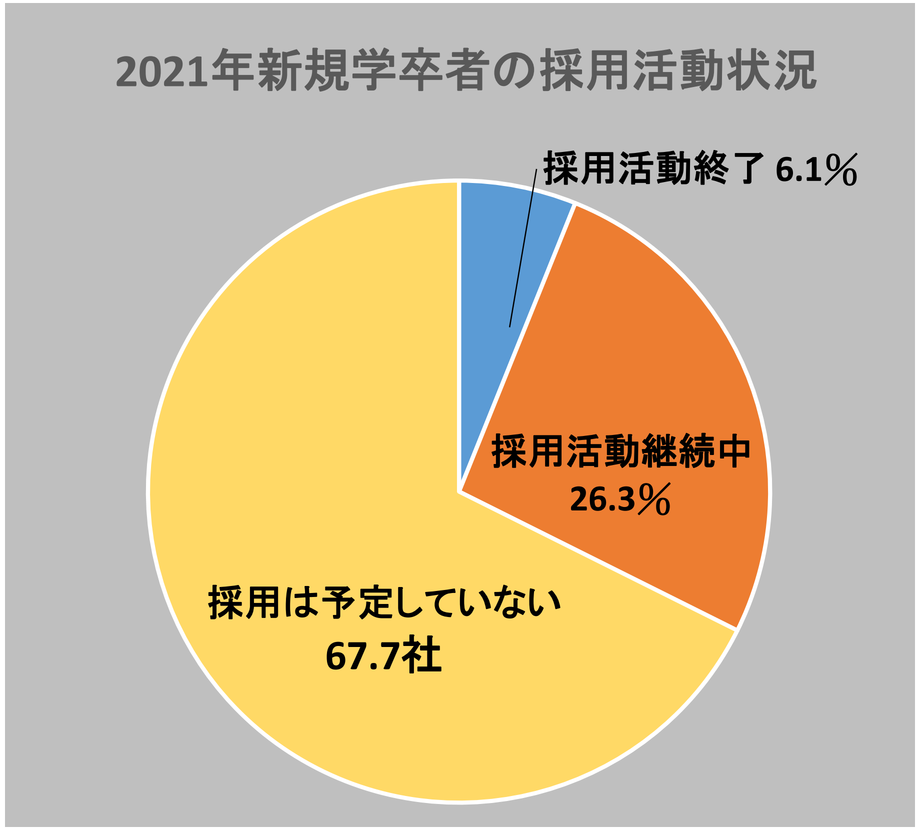
項目	今期（R2．10）			前期（R2．4）			順位変動	前期比（ポイント）
	回答数	回答割合	順位	回答数	回答割合	順位		
受注の減少	86社／100社	86.0%	①	80社／100社	80.0%	①	↔	6．0
商談等、営業活動の制約	56社／100社	56.0%	②	45社／100社	45.0%	②	↔	11．0
資金繰り	16社／100社	16.0%	③	13社／100社	13.0%	⑥	↑	3．0
予防・対策経費の増加	14社／100社	14.0%	④	17社／100社	17.0%	⑤	↑	▲3．0
従業員の雇用の維持	12社／100社	12.0%	⑤	20社／100社	20.0%	④	↓	▲8．0
新規採用活動	7社／100社	7.0%	⑥	10社／100社	10.0%	⑧	↑	▲3．0

新型コロナウイルス感染症の影響により、「受注の減少」をあげている企業は、100社中86社の。前期の回答に続き2期連続で最も多い状況となってます。

※〇数字は、回答数による順位

調査企業数：今期100社

⑮2021年新規学卒者の採用活動状況

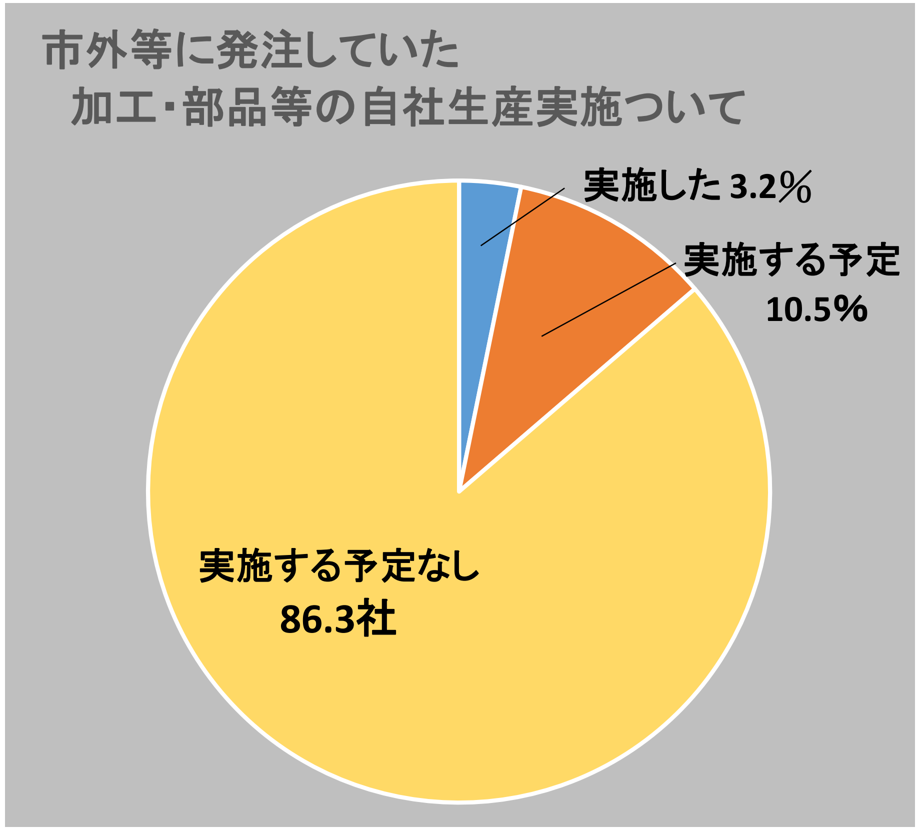


	精密	機械	電気	計量	表面処理	鋳造
採用活動終了	5.1%	7.4%	9.1%	14.3%	0.0%	0.0%
採用活動継続中	30.8%	25.9%	27.3%	14.3%	16.7%	33.3%
採用は予定していない	64.1%	66.7%	63.6%	71.4%	83.3%	66.7%

「採用活動終了」と回答した企業のうち、「充足した」と回答した企業4社、「充足していない」と回答した企業2社となった。

⑯自社のサプライチェーンの見直しにより、市外等に発注していた加工・部品等の自社生産について

調査企業数：今期100社

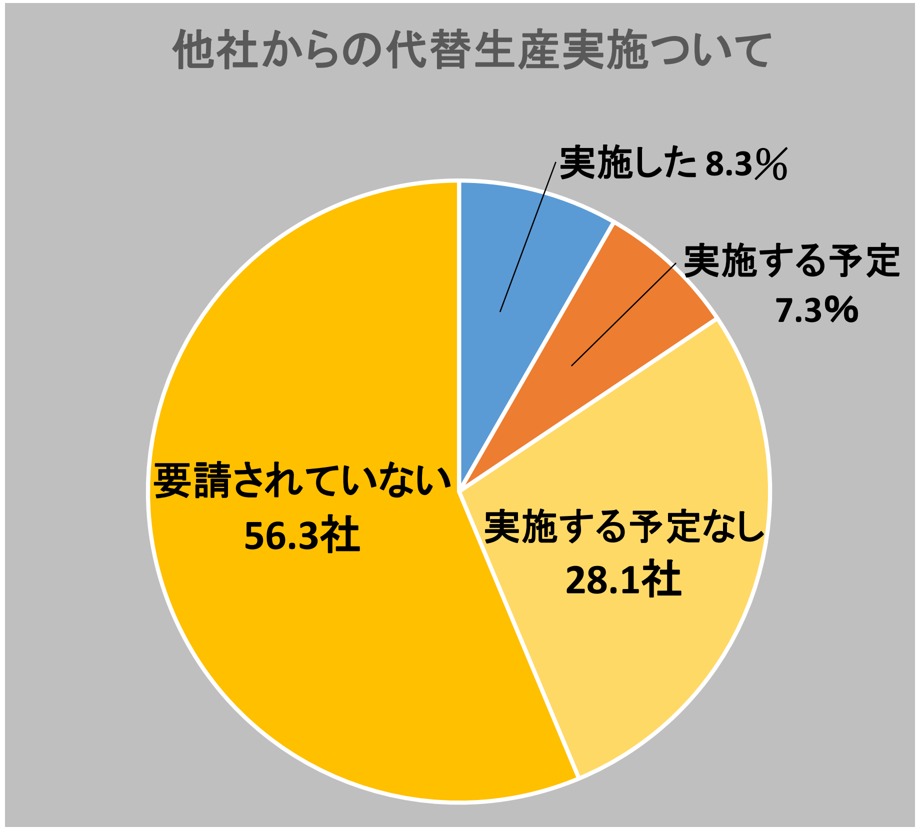


	精密	機械	電気	計量	表面処理	鋳造
実施した	5.4%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
実施する予定	16.2%	0.0%	18.2%	28.6%	0.0%	0.0%
実施する予定なし	78.4%	96.0%	81.8%	71.4%	100%	100%

実施した企業：3社、実施する予定：10社、実施する予定なし：82社、未回答：5社

調査企業数：今期100社

⑰他社のサプライチェーンの見直しにより、他社からの代替生産について



	精密	機械	電気	計量	表面処理	鋳造
実施した	13.5%	7.7%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%
実施する予定	10.8%	0.0%	9.1%	14.3%	8.3%	0.0%
実施する予定なし	27.0%	19.2%	36.4%	28.6%	33.3%	66.7%
要請されていない	48.6%	73.1%	54.5%	57.1%	50.0%	33.3%

実施した企業：8社、実施する予定：7社、実施する予定なし：27社、要請されていない：54社、未回答：4社

⑱今後の販路開拓の実施方法について

項目	今期（R2．10）		
	回答数	回答割合	順位
ホームページのリニューアル	32社／100社	32.0%	①
企業訪問による営業活動	29社／100社	29.0%	②
オンラインによる営業活動	27社／100社	27.0%	③
特になし	26社／100社	26.0%	④
展示会に出展する	19社／100社	19.0%	⑤
取引企業等を通じたあっせん・紹介	18社／100社	18.0%	⑥

新型コロナウイルス感染症の影響により、今後の販路開拓の実施方法は、100社中32社の企業で「ホームページのリニューアル」が1番回答数が多くなっている。

※〇数字は、回答数による順位